

「豊橋市都市計画マスタープラン 2021-2030（素案）」についての意見募集結果

1. パブリックコメントの概要

- (1) 意見募集期間：令和3年1月8日（金）～令和3年2月8日（月）
- (2) 説明会の実施：第1回 令和3年1月9日（土）10時30分～11時（市役所13階講堂）
第2回 令和3年1月12日（火）19時～20時（市役所13階講堂）
- (3) 意見提出者数：2人
- (4) 意見件数：11件

2. 意見の概要と市の考え方

寄せられた意見の概要及び意見に対する市の考え方は次のとおりです。

	意見の内容	意見に対する市の見解
1	新型コロナウイルスの感染爆発は、地球温暖化と人類の交流の高速大規模化によるものであり、感染による人類の大間引き時代の単なる序章に過ぎない。感染災禍は、今後も病原体を換えながら短い周期、或いは切れ目なく襲来することだろう。 感染対策（感染症はこの一部）、ゲノム研究・産業（BSL3以上の実験施設）もしっかりと、都市計画の改訂案に組み入れて欲しい。	参考意見として受け止めさせていただきます。
2	2030年頃には自動車のEV化と自動運転化（レベル4）が、セットで普及拡大が進む。くるまが、交通インフラから情報インフラに代わろうとする過渡期の計画であることを自覚して欲しい。5Gの基盤整備と端末の普及、そして使いこなすための学習機会も忘れずに整備して欲しい。	参考意見として受け止めさせていただきます。
3	重度視覚障害者のわたしからのお願い。新モビリティサービスの開発段階から、関わらせて欲しい。ハイブリッド車を含む静音車の警告音の義務化が2020年10月によく始まったが、晴眼者、メーカーの独りよがりの機械設計・制度設計で、視覚障害者への配慮は残念ながらカタチに成らずである。	参考意見として受け止めさせていただきます。
4	視点1生活・暮らし (4) 新たなモビリティサービスへの対応 ・EV化、自動運転化に、メーカー任せ、国任せにせず、基礎自治体として制度設計から積極的に関わっていく ・歩行者、自転車、車いす、ペットの位置づけ（権利義務の明確化）と棲み分け ・新しい小型移動手段（電動バランスボード、電動キックボ	参考意見として受け止めさせていただきます。

	<p>ードなど) の位置づけ(権利義務の明確化)と棲み分け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AI と ICT を活用した病院起点のコミュニティーモバイル(乗り合いタクシー) ・松葉杖や車椅子じゃ利用できないコミュニティーバス 	
5	<p>視点2 産業・交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県を日本のラストベルトにしないために、工業(機械)や土木などの工学系に偏った 20 世紀型の産業構造の革新を積極的にサポートしていく。 ・項目追加 <p>(4)次世代高速大容量情報通信インフラの基盤整備(フリーWi-Fi を含む)</p> <p>保育園、幼稚園、学校教育施設、災害避難所、公営住宅</p> <p>多文化共生を積極的に行ってきた国際(生活)都市豊橋の強みをさらに強化させるために、インターネットを活用したボーダレスな交流と創発的な未来づくり</p> <p>(5)環境激変を生き抜く新分野の創出 生命科学系を核とした研究交差点の創設</p>	<p>参考意見として受け止めさせていただきます。</p>
6	<p>視点3 自然・景観</p> <p>(1) 質の高い緑のある市街地の形成</p> <p>街路樹の伐採撤去を含む適正配置 自転車通学路に於ける歩道と自転車通行帯の区分けと確保</p> <p>(2) 選ばれる美しいまちの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性条約に準じた地域在来種の保全再生。多様で複雑怪奇な自然を学べる公園づくり ・豊川を、上流から三河湾まで流域一帯を「自然環境学習公園」に位置づけ、ワールドクラスの学べる公園に高める ・豊かさへの架け橋「豊橋学」の醸成 ・豊橋学←産業、暮らし、文化←歴史←地理 	<p>今後、計画を推進していく上での参考にさせていただきます。</p>
7	<p>視点4 都市施設等の適正管理・活用</p> <p>(1) 都市施設の効率的・効果的な維持管理と適正配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育施設、文化教育施設 ・災害と切り離せない感染症リスクをゼロにする再設計とリノベーション ・空調と排せつ 	<p>参考意見として受け止めさせていただきます。</p>
8	<p>視点5 自然災害+感染爆発への備え</p> <p>(1) 自然災害発生リスクへの平時からの備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模避難から分散避難所への転換 ・都市防災ではなく生活防災、事業継承防災に切り替える 	<p>今後、計画を推進していく上での参考にさせていただきます。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> 以下のタイムラインを作成し、避難訓練の回数を増やし、逐次検証しブラッシュアップ <p>防災・減災、避難、復旧、復興</p>	
9	<p>視点5 自然災害+感染爆発への備え</p> <p>2) 空き家、空き室の適正管理と利活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 不動産物件としての流動性を高め、移住促進策の1つとする 価値の査定と利活用、或いは解体処分、賃貸契約仲介、売渡譲渡などのアドバイスを自治体が積極的に行う 	参考意見として受け止めさせていただきます。
10	<p>視点5 自然災害+感染爆発への備え</p> <p>項目追加</p> <p>(3) 国際港湾「三河港」の防疫強化</p> <p>人に害を与える特定外来生物が数多く移入し、その生存と繁殖が確認されている豊橋市。港は、人モノが行き交うだけの場所ではなく、生態系を乱したり、人命を奪う病原体の侵入経路でもある。現状では、三河港の防疫の管轄は豊川保健所(愛知県)蒲郡保険分室と成っており、たいへん脆弱である。視点2 産業・交流で記した生命科学系の機関も、厚労省管轄の港湾保健所業務を補完し、生態系の保全と防疫機能を幅広く強固なものにする。</p>	参考意見として受け止めさせていただきます。
11	<p>改定の視点と方向性 視点3 自然・景観</p> <p>分野別の方針8 里山・川・港・まち・農・海の景観形成 (3) 港の景～三河港沿岸地域～</p> <p>豊橋には全国にはほこれるものがいくつかあると思いますが、その中でもずば抜けてほこれるものに三河湾の六条潟(前芝海岸含む)があります。</p> <p>市民がこの浜で潮干狩りなどを楽しめるように堤防から浜へ、子どもでも安全に降りられるような設備、トイレなど欲しいと思います。</p> <p>港とともに干潟にも目を向け、自然の海を大事に守っていききたいものです。</p>	今後、計画を推進していく上での参考にさせていただきます。